

## 2022年度研究助成 テーマと助成額

### 1. 心理学・医学的研究

敬称略・五十音順 (万円)

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
神奈川	横浜市立大学附属病院 助教	イデ ケイ 井出 恵子	HPVワクチン接種後ストレス関連反応の予防を目的とする心理的介入アプローチの開発 -HPVワクチン忌避低減に向けての心理的介入の試み-	50
東京	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 知的・発達障害研究部 リサーチフェロー	エカシラ ユカ 江頭 優佳	時間知覚と脳構造・脳機能に基づくADHD病態の類型化の試み	50
大阪	関西医科大学大学院 看護学研究科 大学院生	カノ ミキ 角野 美希	第1子出産後に抑うつを経験した母親の第2子妊娠期から育児期における抑うつと関連要因に関する前向きコホート研究 -第1子出産後に抑うつを経験した母親の特性とスクリーニングに関する検討-	50
京都	同志社大学 赤ちゃん学研究センター 准教授	カウ マサル 加藤 正晴	オープンなオンライン縦断研究プラットフォームの構築 -気質が子どもの発達に与える影響-	50
茨城	筑波大学 医学医療系 助教	カナサワ ユキ 金澤 悠喜	発達障害傾向の特性を持つ母親に関する育児や家事の現状と課題の明確化 -発達障害傾向の母親への育児期における支援方法確立に向けて-	50
愛知	名古屋大学 教授	カネコ ヒシ 金子 一史	児童虐待予防に向けた妊娠産褥期のメンタルヘルス -縦断面接調査を用いたボンディング障害の解明-	50
東京	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 リサーチフェロー	カシヨウ サシ 上條 諭志	発達期の小脳活動異常によるASD病態形成過程の解明 -発達期の小脳活動による「社会脳」の形成-	50
京都	理化学研究所 ガーディアンロボットプロジェクト 研究員	シュ ジュンティン 許 鈞庭	表情模倣による社会的結合の形成の心理学研究 -人間-人間および人間-アンドロイドによる検討-	48
静岡	浜松医科大学 臨床看護学講座 教授	ススキ ミズエ 鈴木 みずえ	Digital Transformation(DX)による認知症高齢者のせん妄予防ケア教育プログラムの開発と評価 -Virtual Reality(VR)・Augmented Reality(AR)体験型学習による多職種協働型医療促進への有用性-	50
北海道	北海道大学病院 精神科神経科 医員	ナカウ マリコ 中右 麻理子	ライブコーチングで子育てを楽しく！ -地域でも支援を受けられる体制作りを構築する-	50
東京	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 講師	フジノ ジュンヤ 藤野 純也	ゲーム障害における意思決定パターンの定量化 -神経経済学的アプローチ-	50
東京	東京医科大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 言語聴覚士・公認心理師	マツモト ナオコ 松本 尚子	文復唱を用いた人工内耳装用児の言語アセスメントの開発	50
<b>小計 12件 598万円</b>				

### 2. 社会学・社会福祉学的研究

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
愛知	名古屋市立大学大学院 医学研究科 病院助教	オオハシ ケイ 大橋 圭	発達性協調運動障害の新規スクリーニング法の開発 -姿勢推定AIシステムを用いた協調運動の評価-	50
埼玉	国立武蔵野学院 厚生労働技官	オオハラ タカハル 大原 天青	触法少年に対する司法・福祉機関における再非行防止に向けた実践研究 -地域社会資源の開発と連携-	50
東京	明治学院大学 准教授	キム ウォンギョン 金 圓景	外国人介護人材の定着支援の現状と課題 -在留資格「介護」で就労している介護留学生を中心に-	50
群馬※	国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園 研究部長	ヒヅメ マサフミ 日詰 正文	高齢期の発達障害者を地域で支援するための体制づくり -より効果的・効率的に実施するために-	50
和歌山	和歌山信愛大学 教育学部子ども教育学科 准教授	モリタ ジュンコ 森下 順子	子育て世代包括支援センターを軸とした過疎地域の多職種連携の在り方	50
<b>小計 5件 250万円</b>				
<b>合計 17件 848万円</b>				

※は団体申請

## 2021年度研究助成 テーマと助成額

### 1. 心理学・医学的研究

敬称略・五十音順 (万円)

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
東京	杏林大学 医学部 助教	アツミ タケシ 渥美 剛史	自閉スペクトラム症における感覚過敏と不安傾向に関与する神経生理学的基盤の検討	48
徳島	徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 准教授	ウチウミ チグサ 内海 千種	逆境の小児期体験がCOVID-19感染拡大下の心理的反応にもたらす影響 -大規模縦断調査による検討-	50
神奈川	国立特別支援教育総合研究所 主任研究員	カイヅ アキコ 海津 亜希子	読みのつまずきの早期改善を可能にする指導および環境要因の検討 -学校間、クラス間での指導効果の差はなぜ生じるのか-	50
東京	公益財団法人 神経研究所(小石川東京病院)／ 筑波大学 研究員・公認心理師・臨床心理士・大学院生	カシマ マキコ 川嶋 真紀子	成人の発達障害患者の認知特性 -WAIS-IVデータによる検討-	50
長野	信州大学大学院 総合医理工学研究科 大学院生	クボキ トモヒロ 久保木 智洗	発達障害傾向の中学生在が抱える日常生活上の困り感を尋ねるための自記式質問 紙開発	50
石川	金沢大学 子どものこころの発達研究センター 修士研究員	スタグ モモカ 須田 桃香	自閉スペクトラム症者における幾何学図形刺激への注視と分析的行動との関係 -ASD児は幾何学図形を好むのか?-	50
鳥取	鳥取大学附属子どもの発達・学習研究センター 特命助教	タキサワ ユウ 瀧澤 悠	学級の子どもと担任教員のウェルビーイングの相関性とウェルビーイング教育の子 どもと担任教員への効果の検証 -子どものメンタルヘルス問題の早期予防・介入のための発展的取り組み-	50
千葉	東邦大学 健康科学部看護学科 助教	ナカシマ ヒデアキ 中嶋 秀明	男性産後うつとの現状と課題を明確化する全国アンケート調査 -支援モデル作成に向けて-	50
愛知	名古屋大学 心の発達支援研究実践センター 特任教授	ノムラ ケンジ 野邑 健二	親子の特性に合わせたペアレントトレーニングプログラム作成の試み	50
東京	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 知的・発達障害研究部 リサーチフェロー	ハヤシ サユリ 林 小百合	注意欠如・多動症児における社会的報酬の報酬頻度が実行機能に与える影響に 関する検討	50
群馬	前橋赤十字病院 小児科 副部長	ミゾグチ フミタケ 溝口 史剛	COVID-19パンデミックと子ども虐待の重症化に関する調査研究 -本邦では、パンデミックにより虐待は重篤化しているのか?-	50
宮城	東北大学大学院 教育学研究科 教授	ワカシマ コウブン 若島 孔文	報酬価値は時間により変わるのか?	50
<b>小計 12件 598万円</b>				

### 2. 社会学・社会福祉学的研究

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
大阪※	立命館大学 人間科学研究科 大学院生	アマノ サトル 天野 諭	乳幼児期におけるセクシュアル・マイノリティの子どもの困難体験に関する研究 -セクシュアル・マイノリティ保育者のフォーカス・ディスカッション・グループを通じて-	50
宮城	仙台市精神保健福祉総合センター 主幹	オオルイ マサツグ 大類 真嗣	東日本大震災の被災者の生活支援を行う支援者向けメンタルヘルスに関する研修 プログラムの開発 -コロナ禍にも対応したオンライン研修プログラムの実装-	50
東京	東京都健康長寿医療センター研究所 副部長	オカムラ ユウジ 岡村 毅	超高齢社会における住まい喪失の研究 -社会的に脆弱な集団における共生の実現-	50
新潟	新潟リハビリテーション大学 医療学部 特任講師	チノウジ ユウキ 丁子 雄希	非利き手での箸操作評価法の開発に向けて -モーションキャプチャーを使用した箸の動きの定量化解析-	50
埼玉	人間総合科学大学 保健医療学部 教授	ハマヅノ タマキ 濱園 環	医療的ケアの必要な小児を支援する看護師が抱える困難 -訪問看護ステーションに勤務する看護師に焦点を当てて-	21
<b>小計 5件 221万円</b>				
<b>合計 17件 819万円</b>				

※は団体申請